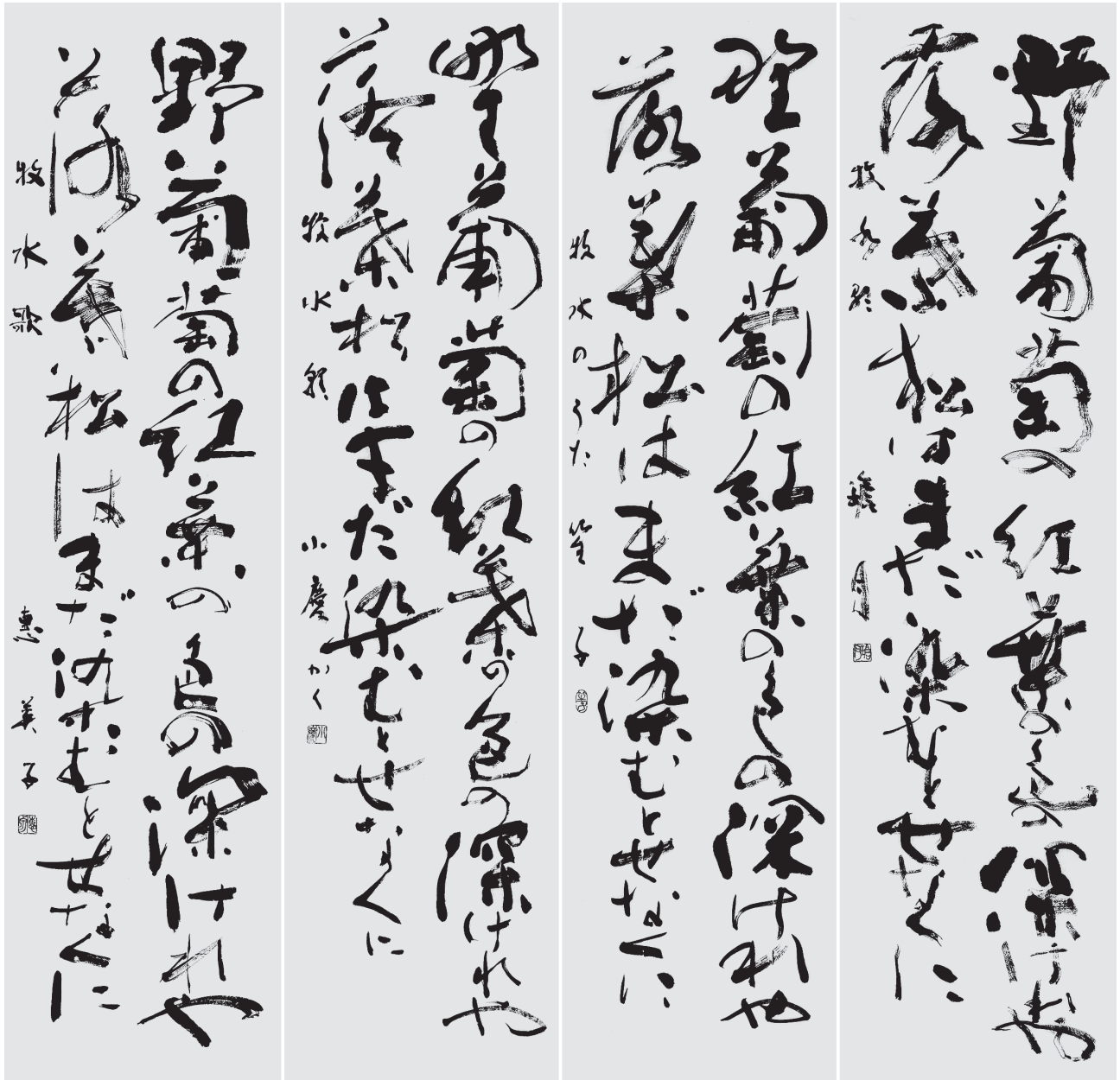


江幡太瓏先生選評



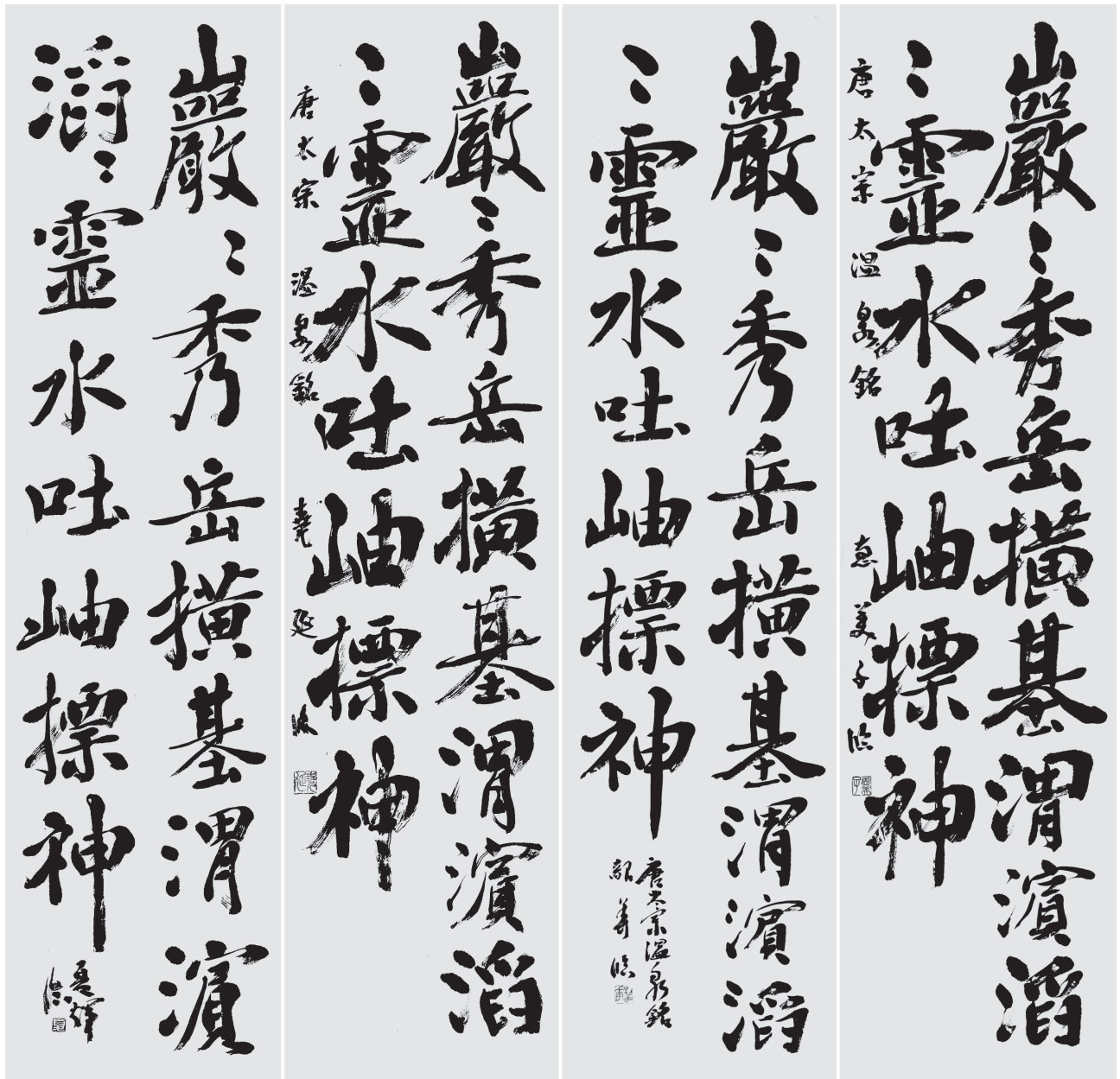
芳賀 瑠月 推選
 筆を自由自在に遣いこなした多種多様な線を用い、潤濁大小、リズム素晴らしく章法を心得た何とも言えない味わい深い作品です。長く観ていても飽きません。

新宮 笙子 推選
 筆の握り柔らかく貴方もリズム感抜群です。落筆高く浮沈がお見事で線が活き活きしています。残念なのは、「むとせむに」強弱が少なく粒が揃ってしまっただか。

源 小慶 推選
 二行を少し中に寄せ大小、潤濁、行の傾きなど他者とは違った作風興味深く拝見しました。下部の仮名ですが、大小、太細をつけてもつと強弱を見せたかった。

菅野 惠美子 推選
 筆をいじめた大胆な渴筆眼を引きました。楽しそうに書いていますね。大事な事です。いやいや書いてると作品にすぐ出ます。「また」もつと墨入れて太くしたい。

伊藤漢仙先生選評



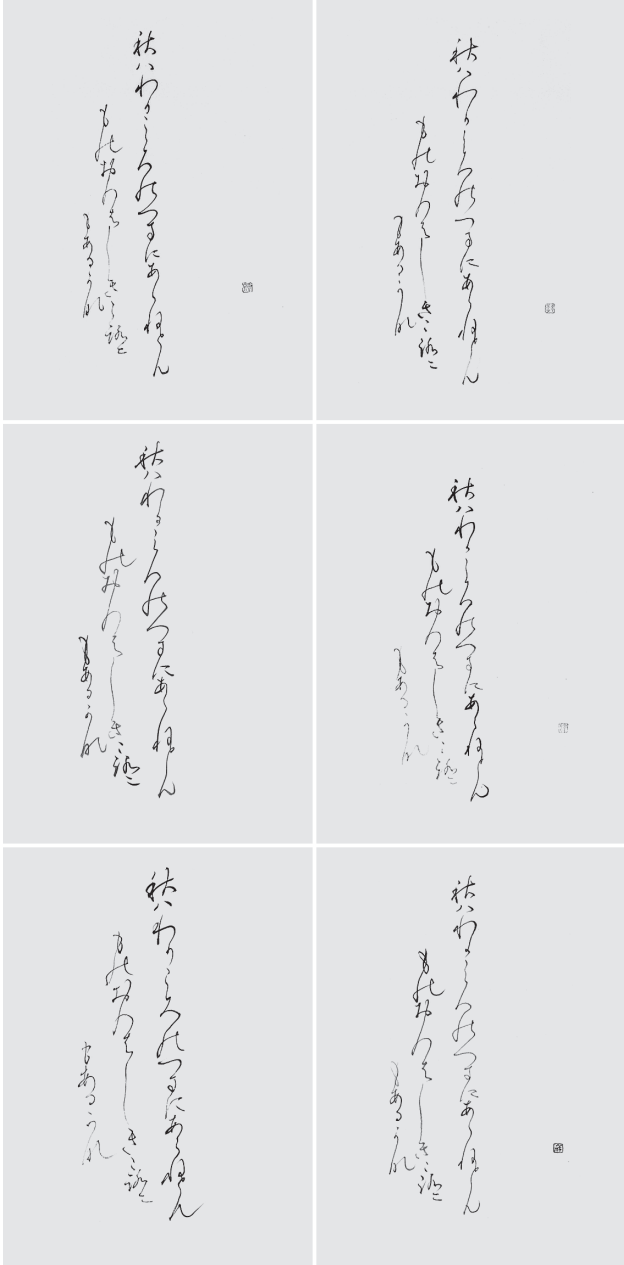
古橋 恵美子 推選
力強く厳しい線質が魅力的です。温泉銘の転折の丸みと大らかさも表現出来ていて、素晴らしい作品になりました。全体のバランスも申し分ありません。

伊藤 韶華 推選
丁寧で柔らかい運筆が、良く原帖の特徴を醸し出していて、雰囲気心地良い。落款も下で纏めて、明るい作品です。参考作品の捉え方も充実しています。

新井 堯延 推選
思いつきりの良い送筆が文字の表情を生き生きとさせています。筆の開閉も良く潤渇の変化も自然で、一貫性のある運筆が作品効果を上げていて快作です。

宮 崎 夏輝 推選
淡々と素直に書作されていて好感が持てます。「滔」字を二行目に持つて行く作品構成も面白く、余白の美しい作品に仕上がりました。全体の章法も良。

吉澤真理先生選・下田豊子先生評



菅原柳邨 準八
手本にしっかりと忠実に臨んでいる姿勢はすばらしいが、今少しの修練があれば一段と作品の格を増すと思う。臨書は修練の積み重ねが大切。

大澤あや 七段
臨書作品に大切なことは墨色、墨量共に手本をよく見る修練が要求されます。遅速の変化によって美しさも表現されます。あと一息の精進を。

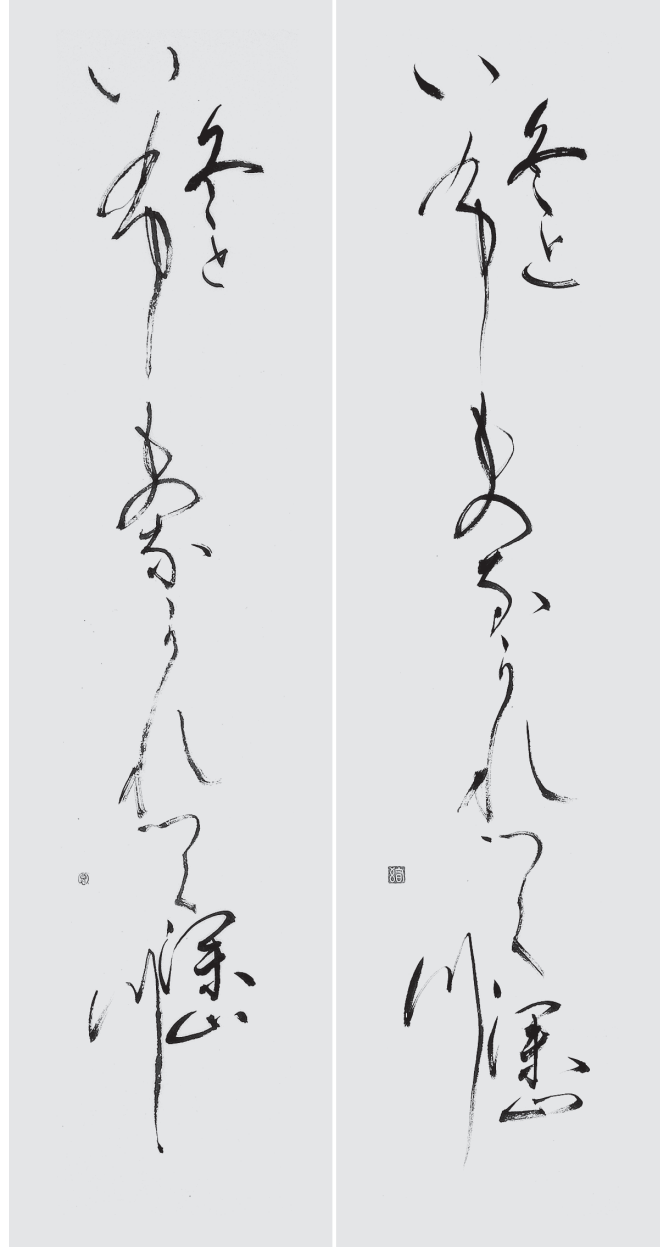
石田雅子 準七
大胆さは見えますが今少しの落ち着きのある運筆が大切。運筆が少々速い様に見えるので自覚して手本とよく向き合ってみて下さい。今後に期待。

木口恵美子 師範
紙面に対する配置はよく出来ていますが少々硬く緊張した運筆が残念です。今少しの伸びと大胆さがあれば申し分ない作品になったと思う。

藤田以津子 師範
筆が少し寝た感じが残念。穂先をしっかりと運筆することが大切。墨量の加減にも今少しの心入れがあれば一段と生きた作品になったと思う。

小塚祥貞 準師
伸び伸びとした運筆は習練度の高さを想います。唯々墨色に少々難があるのは否めない。仮名作品には墨色の美しさと墨量の加減が大切。

久保田淳子先生選評



川島良子 推選
浮沈の効いた豊かな線に魅力がある。紙面に溢れる様な深い風景も表現され、美しい線質と共に渴筆の動きが生きて心洗われる作品になった。

石本絢子 推選
銜のない自然な運筆がリズムよく山の冷気を包み込んで句意を表現して居る。終句の「川」がやや大きいのか、全体のバランスに溶け込めない感じがする。

武良霜伯先生選評



高橋 海 二段
軽やかな動きが良く線質が澄んでい
ます。リズムが最
後まで通っており、
軽妙洒脱、全体を
読もうとする意志
も感じられ最優秀
作です。

達 美峰 師範
紙面の中に線の太
細を上手く配し、
潤滑強弱の変化も
自然で、全体を良
く纏めています。
大きな動きの中の
正確な運筆は最優
秀作に相応しい。

泉 香堂 四段
緩やかな筆の動き
が確実に紙面を捉
えて、真面目な臨
書態度です。これ
に今少しの広がり
を求めて、弾む様
な開放感があれば
更に可です。

數本禮奈 準八
運腕大きく線に伸
びやかさがある。
濃墨で力強く書き
さつて論経書詩の
筆法の特徴を良く
表現しており、素
直にその雰囲気
を捉えている。

一ノ宮 光 初段
手首柔らかく自在
な運腕は見事で
動きの中の渴筆も
自然で、墨、筆、
心が渾然一体とな
り、明るく上品な
作となりました。

熊谷祐一 五段
明るくて線が冴え
ており、澄み切つ
た寒空を翔る鳥の
様な爽快さがある。
気脈の繋がりが良
く作品に緊張感が
あり、生き生きと
している。

蒲澤悠介 準四
しつとりとした線
を多用しながら渴
筆を適度に配置し
て、軽重の変化を
出している。安定
した表現力で技法
の確かさが窺えま
す。

磯野雅子 六段
強くて重厚な線が
引かれ、渾身の味
わいで線に深みを
加えている。少し
硬い筆で一本一本
の線を大切に、押
し込む様な筆遣い
が印象的です。

品川直美 準初
一字目から良く流
れており、軽く自
然な流れの中に明
るい表現の作品づ
くりは見事です。
落款が少し大きく
なったのは意欲の
表れ：でしょうか。

橋本京子 準四
潤筆のしつとりと
した趣と渴筆の墨
量の変化が素晴ら
しい。確実な筆致
で味わいのある線
を生んでいます。
落款の墨量は若干
過多でしょうか。

砂川俊平 準三
線に厚みがあり、
その中に疎密を効
果的に配置し字形
の安定感、紙面に
おける文字の座り
の良さ抜群です。
雅印があれば作品
が更に引き立ち

関井洋子 準六
良く威鋒を駆使し
ながら温かい線で
重厚感があり、直
線のしつとりとし
た線が良く調和し
ています。落款が
やや大きいのと、
渴筆が欲しい。